

セキュアな企業内情報利用に向けて ～情報漏洩防止のための セマンティック技術～

株式会社富士通研究所
津田 宏

概要

2007年に報道された個人情報漏えいインシデントの件数は864件。損害賠償総額は2兆円を超えており(NPO日本ネットワークセキュリティ協会調べ)、PC/USB持ち出しや、メールなどネット経由による情報漏洩対策は企業にとって今解決すべき重要な課題と言える。

一方、セマンティックWebが目指しているように、社内外での情報の統合される世界では、情報の活用が容易になる反面、情報漏洩も複雑化しその対策や情報管理も変わっていくと考えられる。

多様な出口からの情報漏洩に向けた根本的な対策として、PCやネットワークなどのエンドポイントを守るだけでなく、情報そのものを守る「情報セントリックセキュリティ」が提案されている。この実現にはセキュリティ技術だけでなく、情報検索や、自然言語処理などのセマンティック技術も必要となる。

本発表では、メールからの情報漏洩防止に対して、宛先ミスなどの過失から機密文書内容の誤送信まで、セマンティック技術を含むレベルに応じた取組みをデモを交えて紹介する。